

海外観光客からの寄付による社会課題解決を目指す新たな取り組み 「Donate & Go」の開始およびコンソーシアムの設立と 一般社団法人倶知安観光協会と京都市に関する共同記者発表会について

一般社団法人倶知安観光協会(代表理事:二川原康平)と京都市(市長:松井孝治)は株式会社ギフトィ、日本航空、大阪ガス株式会社と共同で、多地域・民間企業が連携協力し、地域課題の解決を目指す「Donate & Go コンソーシアム」を2024年9月11日(水)に設立しました。京都市においては同日より訪日客が訪れた地域に寄付をし、地域オリジナルの返礼品を受け取る仕組みである「Donate & Go」を開始し、その仕組みを活用した第一弾の取り組みとして、京都市を訪れる訪日客を対象に、電子ギフト券を返礼品として寄付を募る「Preserve Kyoto Gift」を併せて開始いたします。ニセコエリアは2024年12月下旬よりサービスを開始予定です。



「Donate & Go」は、訪日客に対し、地域の歴史、文化、自然環境、景観を守り、育てる取り組みへの支援として訪れた地域に寄付を募るとともに、その地域ならではの体験やギフトをお礼として返礼することで、地域の価値や魅力について知っていただき、地域のファン拡大につなげるための新たな仕組みです。第一弾として京都市に導入し、電子ギフト券を返礼品として寄付を募る「Preserve Kyoto Gift」を開始いたします。

また、国際リゾートニセコエリアにおいても京都市と連携協力することで、訪日観光客の地域文化・自然環境・景観保全への理解や共感を促進し、寄付を通じて持続可能なまちづくり・観光に関わる関係人口を増やし、地域課題の解決を目指していきます。このたび「Donate & Go コンソーシアム」を、一般社団法人倶知安観光協会、京都市、大阪ガス株式会社、日本航空株式会社、株式会社ギフトィの5者で発足いたします。

ニセコエリアにおいては2024年12月下旬のローンチを予定しています。

昨年度ニセコエリアに宿泊の外国人宿泊延べ数は約74万人で一般に寄附文化が根付いている欧米からの訪問は6割を超えます。国際観光都市京都市との連携は、今後デジタルクーポンの共用なども予定しており、訪れる外国人の回遊性を高めスキーを目的に来られた方々にも日本文化を楽しんで頂き、何度も訪れたいくなるディステーションとなることを目指します。

■倶知安町「旅先納税」(2021年12月～)のこれまでの実績■

倶知安観光協会では株式会社ギフトィと連携し2021年12月より「KU-KURU」の名称で旅先納税を開始し、これまでの累計寄附額は1億7,000万円に達します。これは導入自治体で全国一の寄附額であり、外国人観光客の多いニセコエリアにおいても自然環境や教育、文化、スポーツの振興や持続可能なまちづくりのための寄附を募ってまいります。またデジタルクーポンの返礼によりニセコエリアに広く外国人による消費が拡がり経済の分散による効果も期待しています。

■お問い合わせ先

一般社団法人 倶知安観光協会(事務局長:鈴木紀彦)
〒044-0078 北海道虻田郡倶知安町樺山41-5 サンスポーツランドくっちゃん
TEL: 0136-55-5372 [メディア関係者専用] Mail: info@niseko.co.jp